

新しい発見や出会いが、きっとここに。
 広い世界への最初の一步を、水戸市国際交流センターから。

MICIA

Mito City International Association Official Magazine

違いを知る。認め合う。新しい出会いがここに。



2月 子どものための国際教育講座

バレンタイン

まず初めに、体を動かす英語のゲーム。緊張がほぐれた子どもたちは、アメリカのバレンタインデーの由来を聞いてびっくりしたり、ゲームで大笑いしたり。バレンタイン・カード作りは真剣な表情で。お土産に講師からチョコをもらって、楽しい思い出ができました。



3月 世界の歩き方講座

カナダ・ユーコン準州

ユーコン準州政府観光局の高橋由香氏が、大自然の魅力あふれる当地の歴史や文化、見どころを紹介。集まった50名の受講者は、幻想的なオーロラの映像に時を忘れて見入っていました。講演後には「感動した!」「ぜひ訪ねたい」との声が多数上がりました。



3月 ことばのひびきを楽しもう!

世界のことばでよみかきせ

MITOインターナショナルライブラリーで開催する人気の講座。今回は4冊の絵本を、英語と日本語で。子どもたちは、興味津々で絵本を見つめて、笑ったり驚いたり。絵本の世界に夢中です。合間には、親子で体を動かしながら、手遊び歌を楽しみました。

2023年度も、イベント・講座の情報は ホームページ・Facebook・LINEでお知らせします

やわらかな光に包まれて、
 世界とつながる。言葉に出会う。

MITOインターナショナルライブラリー

水戸市とアナハイム市の国際親善姉妹都市締結40周年を記念して、2016年12月、水戸市国際交流センターに開設。日本文化を紹介する洋書や、世界各国の文化や風土についての資料を多数揃えています。



外国の絵本の日本語版や、日本で人気が高い絵本の外国語版のラインナップは、県内でも有数。



講座のない日には、広々とした空間で本を読んだり、窓に面した明るいデスクでノートを広げたり、思い思いに時を過ごす来館者の姿があります。

*図書は、どなたでも閲覧できます。県央地域9市町村(水戸市・笠間市・ひたちなか市・那珂市・小美玉市・茨城町・大洗町・城里町・東海村)にお住まいの方には、図書の貸出しをいたします。

次号から

水戸市で活動する国際交流団体をいくつか知っていますか?

水戸市には、外国人の方への日本語学習支援や、定期的な交流イベントの開催、募金やバザーなど、様々な活動を展開している数多くの国際交流団体があります。それぞれの団体のプロフィールや、これからの活動にける意気込みをご紹介します。お楽しみに。



みんなが暮らしやすい社会へ。 始まりは、文化や習慣の違いを 知ることから。

水戸市には、3,793人(*)の外国籍の市民が暮らしています。日本人が、海外旅行先で現地の習慣に戸惑うことがあるように、外国人の方は、毎日の生活のなかで、どんなことに戸惑い、違和感を覚えているのでしょうか。まず知ること。そして、違いを認め合うことが、暮らしやすい社会へとつながります。

*水戸市資料2023年1月末現在



Topics

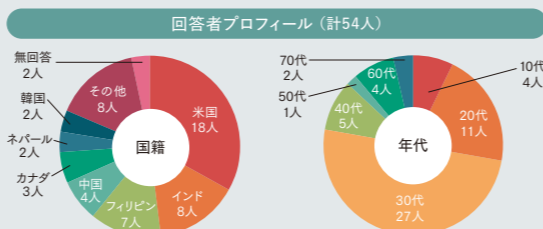
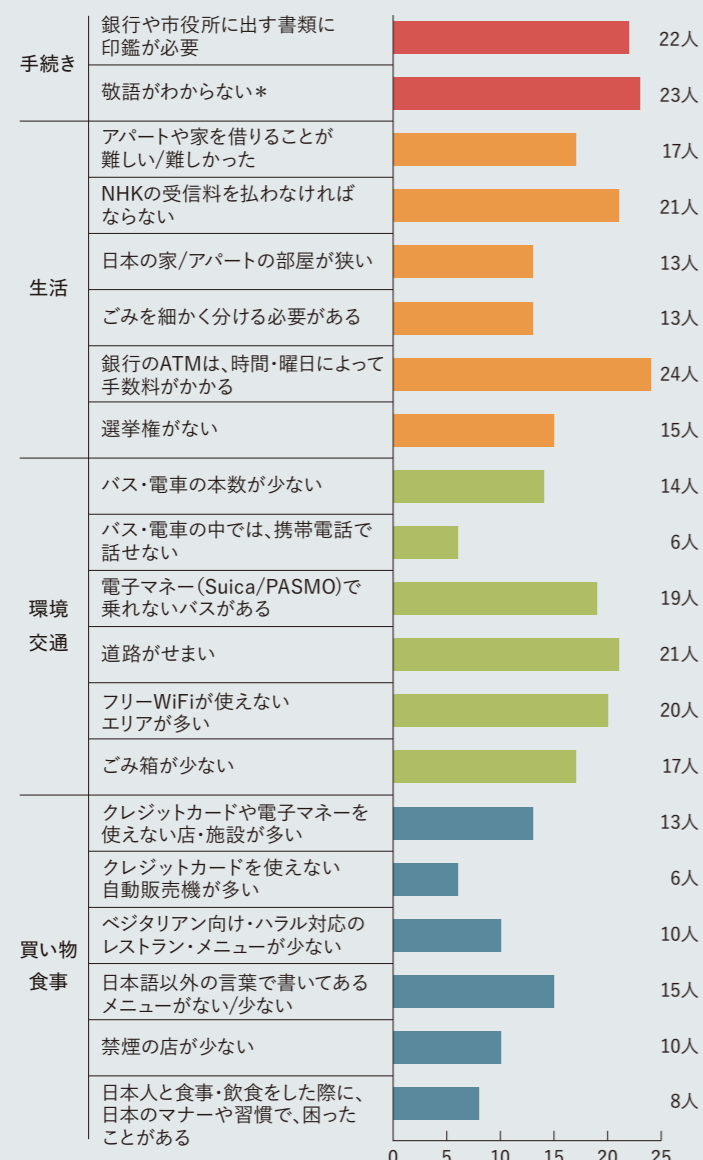
日本語プレ初級クラス

対象は、初めて日本語を勉強する外国人の方。週2回、プロの日本語の先生から、簡単な会話やひらがなを学ぶ全12回のクラスです。2022年度は計25名が参加。最後の授業では、受講者全員が1分間の日本語スピーチができるようになりました。

*2023年度も開講予定。詳しくはお問合せください。



日本で生活していて不便だと 思うことを教えてください。



水戸市国際交流センターの日本語教室の学習者を中心とした外国人市民を対象に、アンケートを実施しました。



他に、不便なこと、困ったことは・・・

- クレジットカードやデビットカードへの加入が難しい。
- スーパーのレジの人とのやり取りで、何を聞かれているのか、わからない。
- 病院で症状を伝えたり、医師の話を理解したりすることが難しい。
- 日本語があまり上手ではない人への配慮が少ないと思うことがある。
- ほとんどの書類が紙ベース。特に子どもの学校へ提出する書類をメールで提出できないこと。
- 税金等の手続きの際に、英語のサポートがほしい。
- 公的な書類が郵送されてきても、(日本語で書かれた)差出人の名前や内容を読むことができないので、大切なものとはわからず、その郵便物を捨ててしまった友人がいる。
- アパートの壁が薄い。
- 椅子やテーブルなどの高さが低く、背中を痛めてしまう。
- 洗濯物を、外に干さなければならないこと。

ルールやシステムをすぐに変えることは難しいものの、私たち日本人の、ほんの小さな心遣いで補えることもあるかもしれません。互いを知って、理解し合うことが多文化共生の第一歩です。

ネパール人が 水戸に多いのは、なぜ？

現在、茨城県の在留外国人は約78,000人。ベトナム・中国・フィリピン籍の方が多く暮らしています。一方、対前年増減率ではインドネシア・ネパール籍の方が20%以上増えています。水戸市に在住する外国人市民のうち、ネパール籍の方は204人と県内最多。多くのネパールの方が水戸に住んでいるのはなぜか？水戸に暮らして22年。ネパールのカトマンズ出身、茂垣・ロメシュ・シュレスタさんにお話を伺いました。

水戸には、飲食店を営んで、 家族と暮らしているネパール人が多いと思います

水戸に200人以上のネパール人がいるんですか？ちっちゃい国としては多いですね(笑)。水戸にいるネパール人は、飲食店をやっている人が多いと思いますね。1店舗にスタッフが3~4人いて、それぞれが3人家族だとしたら、店が10軒あれば100人を超えちゃいますからね。あとは、学生が50~60人くらいいますよね。最近は、特定技能(*)で来日してホテルなどで仕事をしている人も増えてきていますね。



*特定技能：2019年に開始された日本の在留資格。少子高齢化の進展で深刻化する労働力不足に対応するために設置された。一定の技能及び日本語能力基準を満たした外国人は特定技能としての在留を許可される。

ネパール人にとって、 日本は出稼ぎ先の一つになっています

ネパールは、農業・観光産業のほかには、特に産業がないんです。だから、インドへ行って働く人が多い。インド料理店を営むネパール人が多い理由はここにあります。インドのほかにも、中東のドバイやカタールなどに建設の仕事で出稼ぎに行きます。日本には、仕事をしながら自分の家族と一緒に居られるという制度があるし、義務教育のおかげで学校にかかる費用はネパールよりも安い。日本で働いているネパール人は、「日本で永住権を取って家族を呼び寄せて一緒に生活すること」を目指していると思いますよ。ただ、言葉の壁が大きいから、それなりに勉強しなければなりませんけれど。

茨城県の在留外国人数

国籍	人数(人)	対前年増減率(%)
ベトナム	13,891	17.7
中国	12,145	▲2.8
フィリピン	10,492	6.6
ブラジル	5,994	▲0.7
インドネシア	5,137	25.5
タイ	5,109	3.6
韓国	4,120	0.2
スリランカ	3,242	2.3
パキスタン	2,070	7.3
ネパール	1,728	22.7

ネパール人の人数

市町村名	人数(人)
水戸市	204
つくば市	184
土浦市	136
古河市	132
取手市	129
他39市町村	943

〔出入国在留管理庁「在留外国人統計」令和4年6月末現在〕

水戸は暮らしやすく、人が、優しいんですよ

この10年くらいの間に、たくさんのネパール人が水戸に来ていますけれど、水戸に1回来ると、水戸を出ない人が多いかな。出てまた戻ってきちゃう。不思議なんですけど(笑)。水戸は暮らしやすいんじゃないですかね。東京に近くて便利だけど、東京よりも家賃も物価も安いし、人はなんとなくのんびりしていて心に余裕があるような感じで。余裕がある人って優しいんですよ。

家族も仕事に就けることが、 水戸で暮らす大きな理由だと思います

もうひとつ僕が思うには、水戸には仕事があるんですよね。旦那さんの仕事だけじゃなくて、奥さんの仕事も。来日したばかりで日本語がまだ上手じゃなかったら、職場まで通うのも大変でしょう？でも、水戸の近郊にある食品関係の会社は、自分で水戸駅まで行けば、迎えに来てくれるんです。そういう会社がほかにもけっこうあって、知り合いの奥さんも、水戸に来てまだ1ヶ月なのに、もう仕事に就いてるんです。ということは、その会社は、働くのに日本語がいらないということです。これは、大きいと思いますね。

ロメシュさんは、現在、茨城大学の近くで飲食店を営んでいます。一方、英語・ネパール語・ヒンディー語・ウルドゥー語の通訳として、民間団体に登録。折々に外国の方をサポートをしています。インタビューでは、ほかにも、水戸での暮らしについて、ロメシュさんの体験を交えた示唆に富んだお話を伺っています。



インタビューの全文はこちら▶

